

栗原小だより

～学校教育目標～
よく考え学ぶ子
心のゆたかな子
たくましい子

新座市栗原 1-5-1 TEL 042-473-7070
HP <http://www.c-niiza.ed.jp/e-kurihara/>

令和元年度最終号
令和元年3月23日



一年間、ご支援・ご協力ありがとうございました

校長 保戸田 雅之

学校は、集団で学ぶことに意義がある

まさか、こんな形で今年度が終わるとは誰も予想していなかったと思います。突然の休校の指示に、子供たちはもちろん、職員も大変慌てました。でも、新型コロナウイルスという先の見えない脅威から子供たちを守るためには、一刻の猶予も許されなかったのだと思います。

3月は学習のまとめの時期であり、それが十分にできないと分かった私たちは、最後の日（2月28日）に、できる限りの学習を進めました。学力を保障することが、学校の最優先事項だからです。これから実施する予定だったテストを片っ端から行った学年もありました。

しかし、この3月に学習と同じくらい大切なのは、**学年・学級集団としてのまとめ**です。学校というのは、**集団で学ぶことに意義がある**と私は思っています。この一年間に、有意義な仲間との関わり合いができたのか、協力したり励まし合ったりできたか、友情は深められたか、感動することがどれだけあったか、誰に感謝すべきなのかなどを振り返り、次の一年に向けての課題を確認することが大切です。この時間を確保できなかったことが残念でなりません。

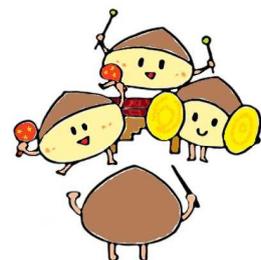


もともと予定されていた縦割り班の集まりですが、急遽、6年生への感謝を伝えるセレモニーとなりました。(2/28)

将来社会に出て様々な人と関わる中で自らの蓄えた力をどうやって生かすのか、書物やインターネットだけでは学べない知識や技能をいかに体験的に身につけるかといった、**集団でなければできない**学びを、これからも大事にしていきたいと思えます。

一年間、ご協力ありがとうございました

保護者、地域の皆様のご支援・ご協力により、コミュニティ・スクール3年目を終えることができました。本当にありがとうございました。



おかげさまで、本年度も家庭・地域との連携がより充実し、保護者の皆様や地域の皆様に教育活動に参画していただく機会が一層増えました。子供たちの学びが充実したのはもちろんですが、取り組みのいくつかは、ご協力いただいた皆様にも一緒に楽しんでいただけたものになりました。

また、5年生の発案をきっかけに、清掃活動や公園の緑化など、子供たちが地域に出て活動する機会を得たことも大きな前進であったと思えます。

今後も、子供たちのためだけでなく、家庭や地域の活性化も推進できる教育活動が展開できたら幸いです。

明日、6年生が令和最初の卒業生として栗原小学校を巣立っていきます。異例の方法での卒業証書授与式となりますが、職員一同、心を込めて送り出したいと思えます。今後とも、栗っ子たちへの変わらぬご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。